社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団

いずみの園（その）だより

vol.96
春号
2026.4.24
法人だより合併号

信望愛
Since1978

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。　コリントの信徒への手紙Ⅰ13:13

基本理念
神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする
1アメニティ（快適主義）　2ヒューマニティ（人間主義）　3ローカリティ（地域主義）

おかげさまで 法人創立55年

感謝と誇りを胸にすべての人に寄り添う福祉を

理事長就任のご挨拶
2026年度 事業計画
法人だより
新卒職員紹介
開設記念日

連載企画／入居者礼拝より・私たちの魅力

2026年
辞令交付式・入職式
理事長交代式・
新任職員歓迎会
2025年度忘年会
健康経営事業所認定

表紙：特別養護老人ホームいずみの園 お花見ドライブ

2025年度第4回理事会が開かれました。

3月26日（木）10時30分から2025年度第4回理事会が、いずみの園総務会議室で行われました。

第1号議案「2025年度第2次補正予算（案）に関する件」、第2号議案「2026年度事業計画（案）に関する件」、第3号議案「2026年度予算（案）に関する件」、第4号議案「各規程の改正に関する件」が審議され全会一致で決議されました。続いて第5号議案「理事長の退任、選任に関する件」では、冨永理事長から理事長辞任の意向があり、全員の賛成により新理事長に滝口理事が就任されました。最後に第6号議案「2025年度第1回臨時評議員会開催日程及び議案に関する件」が審議され、こちらも全会一致で決議されました。続いて報告事項として「グレース保育園の行政指導監査報告」があり、全て了承され散会しました。

（法人本部事務局）

理事会の様子

理事長就任のご挨拶

社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団
理事長　滝口　真

「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」（聖書 マタイ25章40節）

このたび、社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団の理事長を拝命いたしました。長年にわたり地域の皆さまに支えられてきた法人の歩みを振り返ると、その積み重ねの福祉事業とともに、未来へ向けた大きな希望と責任の重さを実感しています。

私たちが大切にしてきた法人の基本理念である「キリスト教の愛と奉仕の精神」は、利用者の皆さま一人ひとりに寄り添い、その人格と尊厳を守る支援の原点であります。この法人理念は揺るぎない基盤であり、支援の現場で継承されるべき法人の魂であります。

社会の変化に伴い、福祉現場は新たな課題やニーズが生じてきます。いかなる状況においても、安心して暮らせる環境を整え、利用者の皆さまがその人らしく日々を過ごせるよう支えること、そして職員が誇りと喜びを持って働ける職場づくりを進めることが、私に課せられた重要な使命の一つであります。

冒頭の聖書は、「最も困り苦難の中にある一人にしたことは、主イエス・キリストにしたことである」と説いています。この法人理念のもと48年間の歩みを大切にしながら、地域の皆さまと共に温かい福祉を育み、より良い地域福祉の未来を創り出せるよう誠実に歩みを進めてまいります。今後とも、変わらぬご支援とお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【理事長略歴】
大分大学大学院教授、社会福祉法人栄光園 理事長、日本キリスト教社会福祉学会副会長、日本看護福祉学会副理事長、日本福祉文化学会理事等

人事関係

2025年11月2日以降

❶ 昇格

2026年	4月 1日	野見山　晃	特別養護老人ホーム		次長
		郡山奈緒美	在宅サービス事業部	中津市地域包括支援センター、地域公益課　兼務	課長
		松吉美由紀	特別養護老人ホーム	看護課	課長
		岡﨑　真理	特別養護老人ホーム	介護課	主任
		宇都宮菜都美	かきぜサポートセンター	訪問看護課	主任

❷ 異動　役職者

2026年	4月 1日	須崎　敏治	聖愛ホーム		課長
		大島加奈美	在宅サービス事業部	訪問介護課	主任

❸ 異動　一般職

2026年	1月 1日	吉田　寛子	在宅サービス事業部	中津市地域包括支援センター	社会福祉士
	4月 1日	幾留　暢子	共生サービス事業部	相談支援課	相談員
		中西　由紀	かきぜサポートセンター	多世代交流課　児童発達支援・放課後等デイサービスマルコ、デイサービスかきぜ　兼務	児童指導員　介護員
		熊谷　雅子	かきぜサポートセンター	多世代交流課　児童発達支援・放課後等デイサービスマルコ	保育士
		衞藤　仁美	在宅サービス事業部	リハビリセンターふれあい館	介護員
		守田美沙子	かきぜサポートセンター	子育て支援センターポール	事務員
		濱尾佐智子	在宅サービス事業部	中津市地域包括支援センター	介護支援専門員
		小野　貴子	特別養護老人ホーム	リハビリ課	歯科衛生士
		東　　久美	特別養護老人ホーム	相談課	歯科衛生士

❹ 新採用職員

2026年	1月 1日	小野　貴子	特別養護老人ホーム	介護課	歯科衛生士
	2月 1日	中橋　美咲	かきぜサポートセンター	訪問看護課	看護師
		河内　正隆	総務部	総務課	庶務
		四ツ谷ゆかり	在宅サービス事業部	介護保険サービスセンター	介護支援専門員
		永吉　恵	在宅サービス事業部	訪問介護課	ホームヘルパー
	3月 1日	後藤　恵子	在宅サービス事業部	訪問介護課	ホームヘルパー
	4月 1日	中尾　愛美	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
		善野　心月	かきぜサポートセンター	かきぜグループホーム	介護員
		濱﨑　弘美	在宅サービス事業部	リハビリセンターふれあい館	看護師
		原口　健三	共生サービス事業部	中津市地域活動支援センターリアン	支援員
		佐藤　勲	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
		田奈橋扶紀	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
		金枝ハイディー	特別養護老人ホーム	介護課	介護員

（以上　2026年4月1日まで）

TEL 0979-23-1616 まで

2026年度　九州キリスト教社会福祉事業団　事業計画

1. 基本方針

①『法人理念の継承と具現化』

当法人の基本理念として、「キリスト教の愛と奉仕の実践」が掲げられます。キリスト教の理念の一つは「信仰と希望と愛」（コリントⅠ　13：13）であり、当法人のモットーとして、「信・望・愛」が示され展開されています。法人創立55年目を迎え、当法人の基本理念である原点に立ち返り、キリスト教社会福祉の独自性と使命を覚え、地域福祉への貢献を進めてまいります。

特にキリスト教社会福祉の代名詞としては、「**わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである**」（聖書　マタイ25章40節）と明示されています。

「闇の中を孤独に歩み、頼る者が無く、最も苦難の中にある<ひとり>への行為は、すなわち主イエス・キリストにしたことと同じことである」と聖書は説いています。当法人の理念は聖書のメッセージを魂として55年の歩みを重ねて来ました。これからも誰一人も見捨てず、私たちの家族として迎え、より良い地域福祉の未来を創り出すよう法人職員一丸となって協働します。当法人の理念のもとに集う児童・障がい者・高齢者・地域のご利用者一人ひとりへの支援を強化します。同時に職員が感謝と誇りをもって生活支援が展開できるよう法人の理念の継承とその具現化を進めてまいります。

②『地域共生社会の展開と福祉のまちづくり』の推進

わが国の社会保障審議会福祉部会報告書（2025年12月18日）によると、2040年に向けた人口減少・単身世帯の増加等の社会情勢の変化を受け、多様化・複雑化する福祉ニーズ、地域格差、地域の支え合い機能の低下が指摘されています。これらの課題対策として、以下の２点に取り組みます。

（1）包括的な支援体制整備に向けた対応

大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（会長 冨永健司当法人名誉顧問）との連携協力により、重層的支援体制整備事業の質の向上に向けた取り組みを進めます。特に当法人の児童・障がい者・高齢者・地域支援の横断的な福祉支援体制の機能を有機的に展開します。

（２）地域共生社会の理念における連携協働の強化

大分県内の他の社会福祉法人および医療機関との協働連携についても地域における社会資源としての機能強化を図ります。そのうえで、福祉以外の分野との連携・協働の強化を試みます。昨今の「全世代型社会保障制度」の実現のため、行政をはじめ医療、福祉関係、ボランティア団体、自治会、学校、商工会議所、消防、警察等、地域との連携を図り、市民社会を支える「福祉のまちづくり」を継続展開します。少子高齢化、生産人口の減少、限界集落問題となる「2040年問題」への対応に法人一丸となって努めてまいります。

2026年度　いずみの園　事業計画

1. 基本方針『地域共生社会の展開といずみの園・福祉のまちづくり』の推進

2. 重点課題

コロナ禍後、物価高、国際紛争等の影響を鑑み、重点課題としては2025年度に掲げた事項を継続し、経営の回復と共生社会の展開に注視します。

①地域共生社会の展開と福祉のまちづくりの推進
- 地域包括ケアシステム
  地域共生社会の推進
- こども未来戦略
- 子ども、子育て世代、現役世代の社会的支援
  (これまで子育て支援は年金・医療・介護制度の1/13)
- 人生100年時代の地域づくり、施設づくり
  子育て支援、多世代交流
  健康寿命の延伸、自立支援、介護、認知症予防
  高齢者雇用、社会参加、老後のQOL
- 地域公益課　地域の生活課題―貧困、引きこもり、就労支援、8050支援
- 行政、福祉、自治会、医療、学校、商工会議所、消防、警察との幅広い連携

②新時代の福祉施設
- 「地域づくり・地域のリーダーとしての役割―誇りと責任」
- 福祉職場の魅力発信・ＰＲ
- 最先端の知識と高い技術
- ＬＩＦＥ(科学的介護情報システム)
- テクノロジーの活用(ＩＣＴ、介護ロボット)

③働き方改革、健康経営、人材確保
- ＷＬＢ(ワークライフバランス)、メンタルヘルス対応
- 福祉介護のイメージアップ
  「人の幸福を目指し、人の尊厳を守る」
  「使命感・ミッション」「遣り甲斐」
- 処遇改善、職場環境の改善
- 障がい者、高齢者、子育て世代、女性の雇用促進

④経営マネジメントの改善、経営の安定
- 事業収入の回復、確保
- 事業経費の節減、見直し
- 中長期経営計画

上記４項目の重点課題の根底に本法人の理念を覚えて、ミッションの具現化を図ります。

お問い合わせ・ご相談は

2026年度 九州キリスト教社会福祉事業団・事業計画

1．法人本部事業計画

（1）理事会の開催　　年３回（６月、12月、３月）
（2）評議員会の開催　　年１回（６月）
（3）監事の監査　　年１回（５月）
（4）役員の研修
（5）後援会活動の強化

2．組織

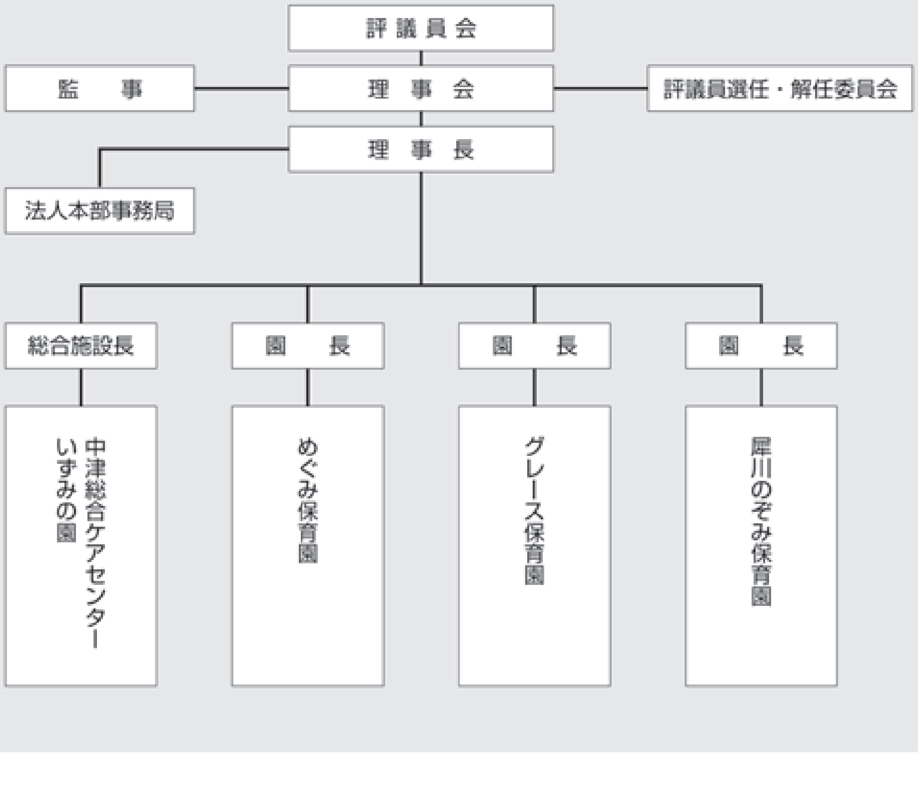
（1）本　部　大分県中津市永添２７４４番地　特別養護老人ホームいずみの園 内

（2）役　員
理事長　滝口　真
理　事　冨永　健司　廣安慎太郎　大継　徹朗　堂本　高雄
谷口　弘美
（任期：2025年６月25日～2027年定時評議員会）
監　事　金枝　豊治　鎧坂　守和
（任期：2025年６月25日～2027年定時評議員会）

（3）評議員
川島　直道　清源万里子　熊井カオル　高山　優治
多田　満　古江　信一　吉田　秀久
（任期：2025年６月25日～2029年定時評議員会）

（4）事務局
堂本　高雄　友清　賢　末延　政光　小松　証子

3．組織図



2025年度 献金報告

（敬称略させていただきます）

●個人・団体の部●

- 赤坂喜生
- 赤嶺琴美
- 明渡文子
- 井野フサ子
- 岩川利彦
- 上本恵子
- 臼木孝
- 大島義太郎
- 於久ヒサコ
- ㈱カートピアキクチ
- 河田貞子
- 佐藤昌彦
- 司城理恵
- 伸和建設㈱
- 高木寿博
- 竹谷純恵
- 多田満
- 冨永安子
- 友松佐千枝
- 中村卿子
- 東島幸子・田村節子・櫻井芳恵
- 久恒薫
- 平岡洋子
- 平原伸
- 福岡市民クリスマス実行委員会
- 堀正三
- 水永三輪
- 宮崎千枝子
- 守田鈴子
- 山城順
- 山本朝子
- 吉高美籠
- 渡邊美栄子

●教会関係の部●

（教会：大分県内）

- 宇佐教会
- 大分教会
- 大分東教会
- 国東教会
- 杵築教会
- 中津教会
- 中津福音キリスト教会
- 三重教会
- 由布院教会

（教会：九州）

- 国分教会
- 津屋崎教会
- 錦ヶ丘教会
- 九州教区事務所
- 福岡中部教会
- 福岡城東橋教会
- 門司教会
- 八代教会

（教会：九州以外）

- 岡山信愛教会

（学校・保育園・幼稚園）

- 周船寺第二幼稚園
- いずみの園フェスタ

（教会婦人会）

- 北九州復興教会女性会
- 小倉東篠崎教会シャロンの会

お問い合わせ・ご相談は

献金のお礼

2025年度も当事業団の働きのために多額の尊いご献金を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

平素より私たちの活動を覚え、変わらぬご支援をお寄せくださる皆様のお心に、改めて深く感謝申し上げます。

さて、ご高承の通り、昨今の福祉を取り巻く環境は依然として厳しい状況におかれています。そのような中にあっても、いずみの園をはじめ、各保育園での働きは順調に推移しております。これもひとえに、常日頃より温かいご支援を賜っております皆様のお陰であり、関係者一同、心より感謝いたしております。

皆様からお寄せいただいたご厚情を励みに、今後もご利用いただく施設内整備並びに地域福祉の向上に向けて、より一層努力してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2026年4月

理事長　滝口　真

献金額の推移

単位：円

2013年度	6,396,204
2014年度	13,283,893
2015年度	17,664,897
2016年度	48,188,784
2017年度	4,437,895
2018年度	33,479,312
2019年度	33,362,605
2020年度	34,132,314
2021年度	28,067,601
2022年度	4,389,350
2023年度	1,784,910
2024年度	2,789,900
2025年度	3,434,931

▼献金のご案内▲

【献金使途】

1　法人のため
2　特別養護老人ホームいずみの園のため
3　ケアマンション聖愛ホームのため
4　めぐみ保育園のため
5　グレース保育園のため
6　犀川のぞみ保育園のため
7　その他

【送金方法】

① 現金送金
大分県中津市永添二七四四
いずみの園内

② 郵便振替口座払込
ゆうちょ銀行
口座番号
01750・8・130861

【名　義】

社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団

この寄付金は所得税法及び法人税法により税の控除の対象となります

ケアマンション 聖愛ホーム

ホーム長　橋本　由美

聖愛ホームは今年開設から31年を迎えます。

2025年度は6名の入居者が退去し、同じく6名の新入居者をお迎えすることができました。

現在は男性8名、女性42名で、平均年齢86歳です。また、平均在籍年数も8年と長く生活されています。

春の桜と聖愛ホーム

コロナ禍の生活から段々と日常生活を取り戻し、散歩で季節を感じスポーツジムや公民館活動に参加される方もいます。四季に応じてバスドライブを行い、花や美しい自然を満喫し、道の駅での買いものを楽しんでいます。

また、日々の生活の中では、入居者同士の交流も大切にされており、談話スペースでは自然と会話が弾み、笑顔あふれる時間が流れています。季節の行事やレクリエーションも工夫しながら実施し、心身ともに充実した生活を送っていただけるよう努めています。

聖愛ホームの職員も一致団結し、楽しい時間を提供できるようにサポートしていきたいと思います。

めぐみ保育園（大分東教会）

園長　大継　徹朗

２０２５年度も、主の御護りと恵みのうちに保育を無事に終えることができましたことを心より感謝し、主の御名を誉め讃えます。

九州教区の祈りによって大分東教会が誕生し、現在地（大分市臨海工業地域）に事業団創設の基となった「めぐみ保育園」が開園してから、今年で59年目を迎えました。歳月の流れの中で地域の姿は移り変わりましたが、祈りに支えられた保育の歩みは変わることなく続いています。

4月には15名の新入園児が与えられ、２０２６年度は園児85名、職員24名でのスタートとなりました。人材不足などにより経営環境は厳しさを増しておりますが、十分とは言い難い中でも新しい職員が与えられ、日々の保育をなんとか守り続けているところです。

今年度も「平和」「人権」「いのち」を大切にする思いを持ちながら、職員一同、心を合わせて前進し、子どもたちが互いの違いを喜び合えるような関わりを、日々の保育の中で丁寧に育んでいきたいと願っています。２０２６年度も、事業団の他の施設と共に覚えてお祈りいただけましたら幸いです。

2025年度卒園児

犀川のぞみ保育園（犀川教会）

園長　池上　信也

２０２５年春も前年同様17名の園児で始まりました。11年間主任を務めた職員が早期定年退職し、現場を統括する主任保育士が交替して最初の1年でしたが、無事に終えることができる見込みです。途中入園児が2名あり、0歳児さんのご利用も4名あり、主任交代で人件費が下がったこと等もあって、運営的には何と黒字です。職員募集に対しても、8月に補助員1名、2月に保育士1名が入職。こちらも何と、経験豊富な前職員の再入職です。転園したお子さんが戻って来られることはありましたが、退職職員が戻って来てくれるというのも、なかなか捨てたものではありません。

２０２６年度は園児15名で始まります。またもや最少記録更新ですが、小さく弱い者に神様の栄光が現されることを信じて歩み始めます。犀川地区最古園65年目の航海は、どのような素晴らしい景色が見えるのか、楽しみです。

2025年度は園児19名・職員13名

グレース保育園（中津教会）

園長　廣安愼太郎

3月21日、第52回卒園礼拝が守られ、18名の子どもたちがグレース保育園を巣立っていきました。皆さまのお支えの中で、子どもたちが大きく成長した一年を共に喜ぶことができ、心から感謝いたします。

今年度は新たに13名の新入園児を迎え、いよいよ新しい年度がスタートします。

新年度の年主題は「しゅイエスとともに」。

目には見えなくても、一人ひとりの中にはその子ならではの「きらめき」が必ず宿っています。

子どもたちの“自ら育とうとする力”を信じて支えていくとき、その芽はやがて私たちの想像をはるかに超える豊かな実を結ぶことでしょう。

イエス様は、子どもたち一人ひとりの成長を喜び、その心に寄り添いながら導いてくださいます。

この一年、子どもたちが主イエスの愛の中でのびのびと育ち、そのしなやかな心がさらに豊かに育まれますように。

そして園とご家庭が温かくつながり、共に子どもたちの成長を喜び合える一年となることを願っています。

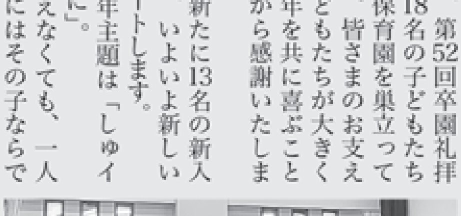
「わたしの目にあなたは価高く、貴く」
（イザヤ書43章4節）

すべての子どもたちは、神さまから深く愛されている尊い存在です。

その愛を実感できる保育を目指し、子どもたちの光が輝き、心に元気が満ち、生きる力が湧き上がるような毎日を大切にしていきたいと思います。

また、共に歩んでくださる主イエスのまなざしに心を合わせながら、子どもたちの輝く姿をブログなどでも紹介していきます。

ぜひご覧いただき、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。


第52回卒園礼拝の様子

お問い合わせ・ご相談は

入居者礼拝より

ケアマンション聖愛ホームでは毎月2～3回近隣教会の牧師にお越しいただき、入居者礼拝を行っています。ここでは入居者礼拝のメッセージをお伝えします。

宇佐教会・豊後高田教会牧師　竹井　真斉

「徴税人は遠くに立って、目を天に上げようともせず、胸を打ちながら言った。『神様、罪人のわたしを憐れんでください。』」
（ルカによる福音書18章13節）

祈り。信仰生活の最も基本的なことの一つです。祈ることで目に見えない神様を仰ぎ見て、〝私と神様だけの時間〟を過ごすのです。

聖書に登場する徴税人は、不当な利益を得ている人が多くいました。おそらく徴税人もその一人で、悪いことをした自覚があったからこそ、目を天にあげようともせず祈っていたのでしょう。しかし彼の目はしっかりと神を見ています。「罪人のわたしを憐れんでください」と祈りながら。

神様だけがこの徴税人の、そして私たちのことを全てご存知でおられます。私たちの心も何もかも見抜き、それでもなお愛してくださる神が、聖書の語る神様です。神様はこの徴税人を憐れんでくださいました。私たちのことも慈しみと憐れみの心で見てくださいます。そんな神様だから、私たちも徴税人のように、自らの心の内の何もかもを〝私と神様だけの時間〟の中でさらけ出すことができるのです。

２０２６年３月３日の入居者礼拝

中津市長から100歳を迎えられたご利用者にお祝い状が手渡されました。

３月23日（月）「特別養護老人ホームいずみの園」に入所されている幣旗千代子様へ、奥塚中津市長より100歳のお祝い状と記念品が手渡されました。

幣旗様は「私が100歳!!とても嬉しいです。ありがとうございます。」と感想を言われ、市長と和やかな時間を過ごしました。

幣旗様、100歳おめでとうございます。これからもお元気でお過ごしください。（特別養護老人ホームいずみの園）

お孫さんからのプレゼント

いずみの園トピックス

「特別養護老人ホームいずみの園」でそば打ちの実演を行いました。

２月25日（水）「特別養護老人ホームいずみの園」でそば打ちを行いました。

そば打ちは、以前いずみの園を利用されていたご利用者のご家族の方をお招きし、披露していただきました。そば粉をふるいにかけ、水を加えながら捏ね、大きな包丁を持ってそばを切るなど丁寧に説明しながら披露していただきました。

そして、出来上がった手打ちそばをご利用者に召し上がっていただきました。ご利用者より「手作りのそばは美味しい」「昔、母が作っていた。懐かしい。」などの喜びの声が聞かれました。

（特別養護老人ホーム
いずみの園）

電気軽自動車「日産サクラ」を導入しました。

11月に電気軽自動車「日産サクラ」を5台導入し、さらに２月６日（金）に新たに5台を追加導入しました。

また、園内には電気自動車用の充電設備も整備し、業務の合間にスムーズに充電が行える環境を整えています。

地域の皆さまに安心してご利用いただけるよう、環境にやさしく、災害にも強い福祉施設づくりを少しずつ進めていけるよう引き続き工夫を重ねていきたいと考えています。

（経営企画課）

韓国カトリック大学のシン・スギョン先生がいずみの園に来園され、施設見学とご利用者へのインタビューを行いました。

１月27日（火）・28日（水）、韓国カトリック大学のシン・スギョン先生がいずみの園に来園され、施設見学とご利用者へのインタビューを行いました。

シン・スギョン先生は、高齢者の適切な住まいの確保をテーマに韓国と日本における高齢者の居住支援対策の比較研究のため来園され、ご利用者へのインタビューと施設見学を行いました。インタビューは２名のご利用者に行いました。

施設見学では、日本の福祉制度や高齢者の暮らしについて熱心に質問されるなど、理解を深めておられました。

今回の訪問は、相互に高齢者福祉について学び合う機会となり、理解を深める貴重な場となりました。

（経営企画課）

小規模多機能型居宅介護事業所「寄り合いセンターいずみ」で「児童クラブピーター」との交流会を行いました。

３月13日（金）小規模多機能型居宅介護事業所「寄り合いセンターいずみ」で「児童クラブピーター」との交流会を行いました。

当日は、児童クラブの子どもたちから寄り合いセンターいずみのご利用者へ、心のこもった折り紙の記念品が贈られました。ご利用者からは、お礼にお菓子をお渡ししました。

ご利用者の皆様は、子どもたちの元気な姿に触れ、自然と笑顔がこぼれていました。今後もこのような交流の機会を大切にしていきたいと考えております。　（寄り合いセンターいずみ）

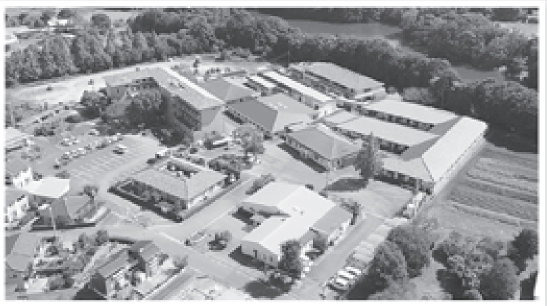
お問い合わせ・ご相談は

2026.4.10

4月10日は「いずみの園」の創立記念日です。

4月10日は「いずみの園」の創立記念日です。毎年この日の特別養護老人ホームの昼食は「開設記念食」として提供され、今年も旬な食材を使った食事でした。

「特別養護老人ホーム　いずみの園」は、1978年４月10日に入所定員50名の施設としてオープンし、多くの皆様の支えを受けて、創立48年を迎えることができました。この日を無事迎えることができたのも、温かく見守っていただいた地域の皆様、またこれまで「いずみの園」に関わって下さった多くの皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。



これからも地域の方やご利用者の皆様から信頼を得られるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（経営企画課）

2026年採用

新卒職員さんにインタビュー!!

①部署 ②趣味 ③性格 ④好きな有名人 ⑤ひとこと（アピールポイント）

善野 心月（ぜんの みづき）さん

NEW FACE

①かきぜグループホーム
②プロレス鑑賞、音楽を聞くこと、映画を見ること
③ちょっと人見知りですが、おしゃべりはすきです！
④浅野忠信さん、オダギリジョーさんが好きです。
⑤先輩方と仲良くなれるか不安ですが、精一杯頑張ります！

よろしくお願いします！

中尾 愛美（なかお まなみ）さん

NEW FACE

①特別養護老人ホーム
② 音楽を聴くこと、寝ること
③フットワークが軽い
④田中樹さん、深澤辰哉さん
⑤利用者さんに頼っていただけるような優しい職員を目指して頑張ります。

ここでは、各事業所の
"魅力"や"こだわり"を紹介します。
いずみの園の内側を
少しでも知っていただければ
幸いです。

私たちの魅力

Vol.19

人材育成・研修センター

研修の様子

喀痰吸引研修

いずみの園人材育成・研修センターは介護・福祉分野における人材育成と技術、倫理観を高め、組織全体のサービスの質を向上させるための専門研修施設です。

当施設では介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修、喀痰吸引等研修、医療的ケア教員講習を実施しています。初任者研修では介護の基礎を学び、実務者研修では介護職員としての専門性を高め、将来的なキャリアアップにつながる重要な研修で、利用者に対してより安全で質の高いケアを提供する基盤となります。喀痰吸引等研修は、介護職員が痰の吸引等の医療的ケアを安全に提供するための研修で、医療的ケア教員は介護職員が安全に医療的ケアを行えるように現場で指導する看護師の資格です。

今後も多様化する社会や利用者のニーズに対応するため、現場と密接に連携し、実践力を重視した研修を実施し、地域の介護人材の育成に貢献したいと考えています。

編集後記

四月は新年度を迎え、どこかせわしなく日々が過ぎていく季節です。そんな中、満開の桜を前にすると、心がやわらぎます。ご利用者から「去年も来ることができ、この日を目指して頑張ってきた。今年も来られてよかった」とのお言葉をいただきました。その一言に、日々の積み重ねの大切さと、季節を共に感じられる喜びをあらためて教えていただきました。これからも、こうしたかけがえのない時間を大切にしていきたいと思います。

（一松）

新採用職員研修を行いました。

４月１日（水）から３日（金）まで、新採用職員研修が行われました。今回の受講者は昨年４月以降に入職した職員です。

研修は「いずみの園の理念とコンセプト」や「職員としての心構え」、「情報系運用研修」、「施設見学」等を行いました。講師は理事長をはじめ施設の職員が務めました。

皆さん、これからの業務、頑張ってください。（経営企画課）

情報系運用研修

理事長の講話

お問い合わせ・ご相談は

いずみの園だより vol.96

編集・発行 社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団 中津総合ケアセンターいずみの園
〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616
http://www.izuminosono.jp E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

2026年入職式、辞令交付式が行われました。

４月１日（水）新卒採用された２名の職員の入職式と、昇格となった役職者以上の５名の職員への辞令交付式が行われました。

滝口理事長よりそれぞれに辞令が渡され、「新年度を迎え、この場に集い同じ時を過ごせることに心より感謝いたします。また、新任職員の皆さんを心より歓迎いたします。

いずみの園は、キリスト教の精神に基づき「信・望・愛」をモットーとしております。ご利用者の思いに寄り添い、共感の心を持って支援にあたってください。職員同士が連携し、ご利用者の存在に支えられていることを忘れず、日々の業務に取り組んでいただきたいと思います。」との挨拶がありました。

あらたな職員を迎え「いずみの園」の2026年度がスタートしました。

（経営企画課）

式の様子

新卒採用職員と滝口理事長

理事長交代式・新任職員歓迎会が行われました。

４月３日（金）理事長・名誉顧問の就任祝賀会と新任職員歓迎会が行われました。当日は業務等で出席できない職員を除き、183名が参加しました。

はじめに、理事長交代に伴い冨永前理事長（名誉顧問）に感謝状が渡され、滝口理事長よりご挨拶がありました。引き続き、昨年12月以降に入職した新任職員15名の紹介及び職員39名への永年勤続表彰が行われました。

また、カクテルパフォーマンスが行われたりと楽しいひと時を過ごしました。

（いずみ会会長）

健康経営事業所に認定されました！

2025年度忘年会

ご協賛いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

CHECK!

Facebookやinstagramの「いいね」「フォロー」お待ちしております！
スマートフォンの方は右記のQRコードから読み込ませてください！

Facebook　Instagram

信望愛 Since1978